

# 漁海況情報

(漁況)

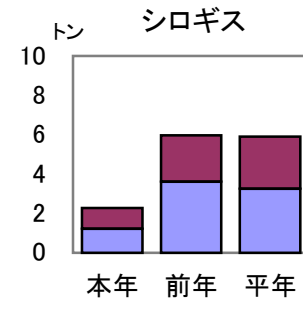
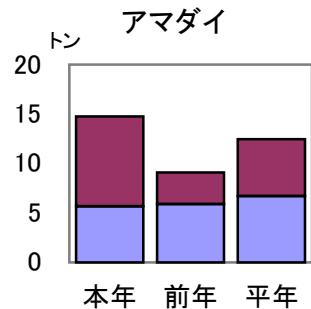
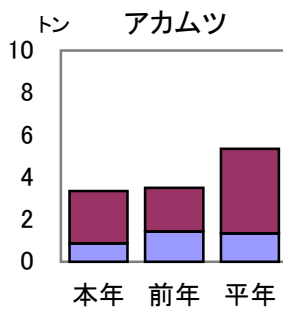
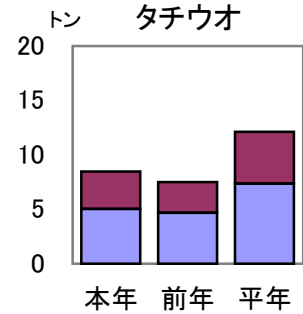
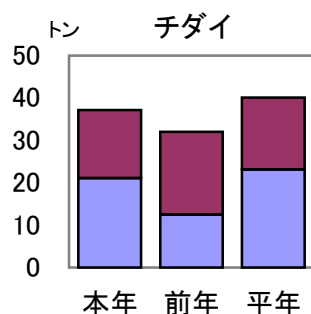
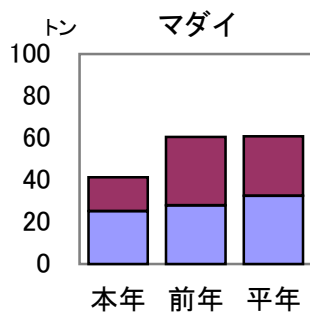
発行 新潟県水産海洋研究所  
 新潟市西区五十嵐3の町13098-8 FAX 025-261-0335  
 TEL 025-261-2043  
 025-261-2044

第 449号 平成 21年 9月発行

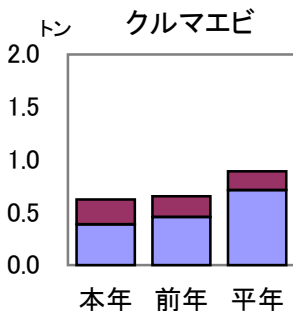
## 平成21年7～8月の県内主要地区水揚量(全漁業種類の合計)

単位:トン

魚種 地区	マダイ	チダイ	タチウオ	アカムツ	アマダイ	シロギス	クルマエビ
山北町	12.24	20.74	0.00	0.80	5.70	1.58	0.37
岩船	7.97	2.96	0.02	0.00	4.34	0.66	0.01
新潟	3.51	1.38	0.16	0.14	3.05	0.05	0.01
出雲崎	4.52	2.82	0.26	0.86	0.10	0.00	0.10
名立	3.75	4.00	0.19	0.33	0.01	0.00	0.00
筒石	6.25	4.83	2.61	0.95	1.15	0.00	0.02
能生町	2.29	0.29	1.41	0.03	0.38	0.00	0.01
糸魚川	0.76	0.15	3.82	0.25	0.03	0.00	0.12
計	41.29	37.17	8.47	3.35	14.76	2.28	0.62
前年	60.50	32.04	7.50	3.49	9.11	5.97	0.65
5年平均	60.77	40.13	12.13	5.35	12.47	5.90	0.89



■ 7月 ■ 8月



・7～8月の底魚類について、マダイは前年及び平均の7割程度でした。  
 ・チダイは山北地区が好漁となり、前年及び平均並みでした。  
 ・アマダイは前年比162%、平均比118%で、前年及び平均を上回りました。  
 ・タチウオ、アカムツ、シロギス、クルマエビは前年及び平均を下回り、特にシロギスの落ち込みが大きくなりました。  
 ・9月から底曳網が解禁しましたが、全体的に低調です。期待されたハタハタは著しく不漁ですが、北部日本海の資源水準は高く、今後、新潟海域への来遊が期待されます。  
 ・16日解禁の板曳網は出足不調ですが、今後、ヒラメ1歳魚(30～35cm)が沖に移動し、漁獲量が増加してくると思われれます。